



Well-being

福山市立幸千中学校
生徒指導だより
2024年7月26日(金)

中学生の主張大会

3 I R猪原遼平君が出場しました。【2024年7月13日(土) 北部市民センター】



～観覧した方からの感想～

- わからないことをわからないままにせず、分かっていくことが大切だと思いました。
- 「わからないことをわからないままにしていることは、とても危ないこと」という気づきを中学生のうちに得ていることがすごい!経験を主観でとらえるのではなく、客観的に考え、学習にも生かしていることは将来にも必ず繋がります。あなたの5年後、10年後が楽しみです。発表ありがとう。
- テストを通しての気づきが素晴らしいです。状況を分析し、その対策を講じるのはこれから大人になっても大切なやり方です。友達関係でもまずは話をしてみるという姿勢はとてもいいですね。学習も人間関係も理解しようと心がけ、やってみることをこれからも大切にしてください。
- 今までで1番良かった!よくやり切ったね!本当に素晴らしい。まさに“いま、ここ”で成長し、挑んでいると感じましたありがとう!
- 自分としっかりと向き合い、努力をしてこられたのだと思います。人生は長いのでこれからどんどん多くの人と関わり、価値観を広げてください。応援しています!
- 決して背伸びをするわけでもなく、自分の今と素直に向き合い、何が本当に大切なことなのか、真理に迫ろうとする姿に強く共感しました。自分自身もその姿を見習い、頑張ろうと思います。

12 「成長・挑む」

福山市立幸千中学校 3年 猪原 遼平

みなさん、こんにちは。今日は僕が中学生として過ごした日々や経験についてお話ししたいと思います。僕が中学1年生のとき、最初に「大きな壁」と感じた出来事は、期末試験でした。中学生になって初めてのテストだったということもあり、緊張や不安を感じていました。そして迎えた試験当日、解けない問題が思った以上にあり、ものすごく困惑しました。その嫌な感覚は的中し、その翌週、全てのテストが返ってきて僕は絶望しました。中学校の試験は、小学校のテストのように表面的なものだけを問われるものではなく、基礎を習った上での応用を求める問題が数多くありました。しかし目標点には届いていなかったのも、色々と分析をしようとなったのです。そこから、分からないものを分からないままにすることはものすごく危ないものだと感じたのです。

そこから僕は変わりました。受け身から挑む姿勢で、学習に向かいました。具体的にどのように克服してきたかというと、①自分の現状の把握や②得意な分野と苦手な分野をみつけること、③教科書の内容を全て見返し大切な内容をノートやタブレットにメモをするなどしました。すると、工夫したかいもあったのか、あらかじめ設定しておいた目標点に近づくことができました。自分から「わからない」を見逃さない、僕は中学校での日々の学習から得た学びです。

さて、学習面で「大きな壁」に挑む日々ですが、その壁は学習だけではなく、友達関係にもずいぶん悩まされました。そもそも僕は初対面の人やそれほど親しくない人とは話すような性格ではありません。ですから、中学校に進学してもなお、小学校の頃の友達としか、話せていなかったのです。漠然とした不安を抱えていた時、当時の僕の担任の先生が、体育大会や校外学習、翌年に控えていた修学旅行など、これから経験していく学校行事を説明してくれました。聞けば聞くほど、このままでは中学校生活を楽しみ、満喫することはできないのではないかと問い始めました。そして次には、「わからないことをわからないままにしない」自分の中にある言葉が思い浮かんできたのです。

そこからは色々な人とコミュニケーションをとるよう意識したり、授業内での発表を頑張ったりしました。特に、5月の体育大会は思い出深いです。積極的にダンス練習や学年種目をクラスの仲間と共に取り組みました。そうすると徐々にクラスの輪に馴染めていくことができ、友達関係で困ることはなくなりました。話したことがない人と話すことは難易度が高いものですが、まずは話してみることで相手のことを理解したり、分かったりするので次第に仲が良くなっていくものだと思います。分からない状態で進もうとするのではなく理解し、分かっていくことが大切なのです。そう考えると苦手ではあっても人との関わりに挑み続けたいと新たな目標を決意することができました。

こんな僕ではありますが、僕の成長や挑戦を支えてくれるものがあります。それは、好きなゲームなどの趣味です。勉強ばかりではなく、そういった趣味が僕を支えてくれるからこそ、自分を前向きにしてくれ、目の前にある大きな壁に挑む事ができるのです。今では、共通の趣味をしている人を探して、自分の思いを共有できるのも良いのではないかと感じられるようになりました。

これらの経験から、自分が抱えている悩みや課題に今、向き合い、どのようにするとよりよいものに变化させることができるのかを考えることから逃げないこそが「大きな壁」を乗り越える鍵ではないかと強く実感しています。

分からないものを分からないままにすることはものすごく危ないもの、だからこそ、学習だけでなく人間関係においても、理解しようとする事が大切なのです。どちらも得意ではないけれど、趣味に支えられながらも「挑む」僕は、いま、ここで、「成長」していると言い切ってみたいと思いました。